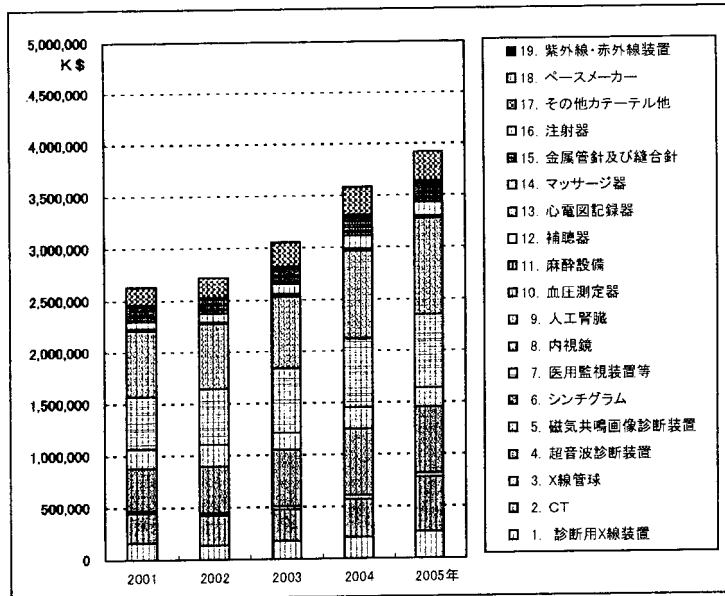


3)日本医用電子装置（輸出） 2001年～2005年

(K \$)

HSコード		2001	2002	2003	2004	2005
902214	1. 診断用X線装置	162,639	133,788	168,923	203,087	254,322
902212	2. CT	279,583	286,457	305,697	367,613	525,474
902230	3. X線管球	26,199	27,300	31,930	38,111	37,819
901812	4. 超音波診断装置	412,030	453,605	548,422	640,562	633,674
901813	5. 磁気共鳴画像診断装置	186,403	210,210	163,556	202,936	185,345
901814	6. シンチグラム	83	138	177	473	350
901819	7. 医用監視装置等	506,388	530,992	619,527	674,938	712,836
901890	8. 内視鏡	636,414	630,502	692,180	834,617	925,882
	9. 人工腎臓					
	10. 血圧測定器					
	11. 麻酔設備					
902140	12. 補聴器	1,093	1,446	2,181	1,690	1,621
901811	13. 心電図記録器	20,953	18,165	26,536	25,787	24,666
901910	14. マッサージ器	69,926	80,678	94,621	125,402	128,460
901832	15. 金属管針及び縫合針	139,907	135,445	149,979	173,271	182,876
901831	16. 注射器	20,106	20,771	19,635	22,677	24,443
901839	17. その他カテーテル他	169,519	190,245	227,201	271,001	283,936
902150	18. ペースメーカー	280	44	190	0	0
901820	19. 紫外線・赤外線装置	1,485	3,183	5,703	2,818	1,459

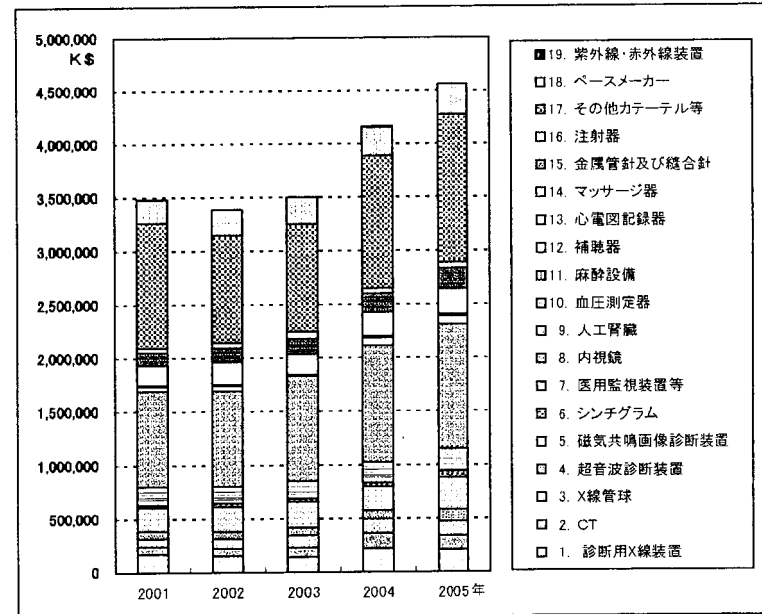


- 1) 内視鏡はHS901890に含まれるが、HS90189039の輸出金額が約530M\$で輸入が無い
ため、派生統計との金額の比較から内視鏡の金額と思われる。
- 2) 輸出は順調に推移している。

日本医用電子装置（輸入） 2001年～2005年

(K \$)

HSコード		2001	2002	2003	2004	2005
902214	1. 診断用X線装置	172,111	157,408	138,943	216,716	207,123
902212	2. CT	70,301	67,597	94,445	144,981	131,454
902230	3. X線管球	71,118	89,353	113,087	131,793	132,903
901812	4. 超音波診断装置	75,933	70,090	72,300	80,450	113,313
901813	5. 磁気共鳴画像診断装置	214,149	227,887	238,718	225,031	296,285
901814	6. シンチグラム	21,440	32,016	32,644	32,569	64,510
901819	7. 医用監視装置等	177,426	136,633	162,995	193,460	206,102
901890	8. 内視鏡	887,764	895,665	976,585	1,089,236	1,161,415
	9. 人工腎臓					
	10. 血圧測定器					
	11. 麻酔設備					
902140	12. 補聴器	46,281	48,313	56,145	74,696	78,670
901811	13. 心電図記録器	11,087	10,329	12,160	13,511	14,038
901910	14. マッサージ器	184,767	207,420	193,095	224,846	239,629
901832	15. 金属管針及び縫合針	124,441	132,396	144,899	175,105	189,155
901831	16. 注射器	40,373	48,068	64,305	51,219	56,699
901839	17. その他カテーテル等	1,164,642	1,007,408	1,010,556	1,231,505	1,380,303
902150	18. ペースメーカー	219,451	237,388	247,825	268,209	286,632
901820	19. 紫外線・赤外線装置	2,102	2,095	2,155	8,461	6,247

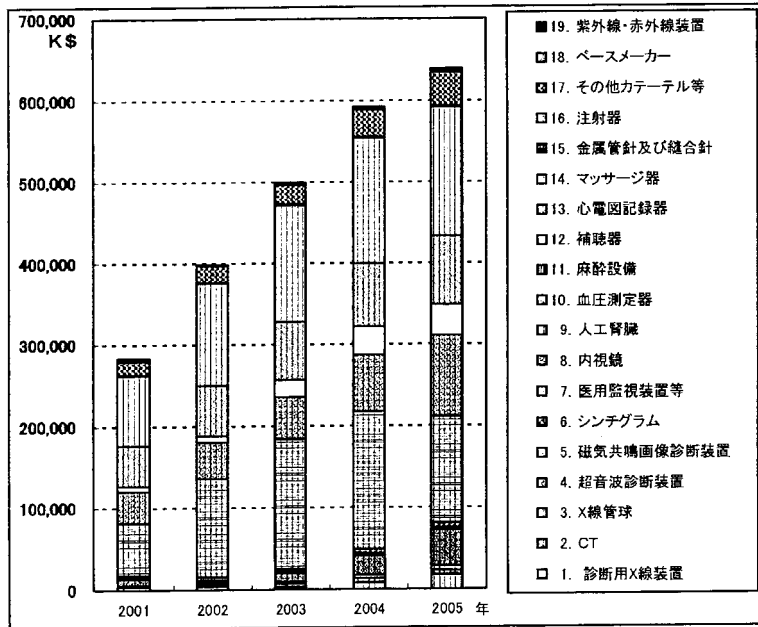


内視鏡と思われるHS90189039は、輸入には無い。

4) カナダ医用電子装置（輸出） 2001年～2005年

(K \$)

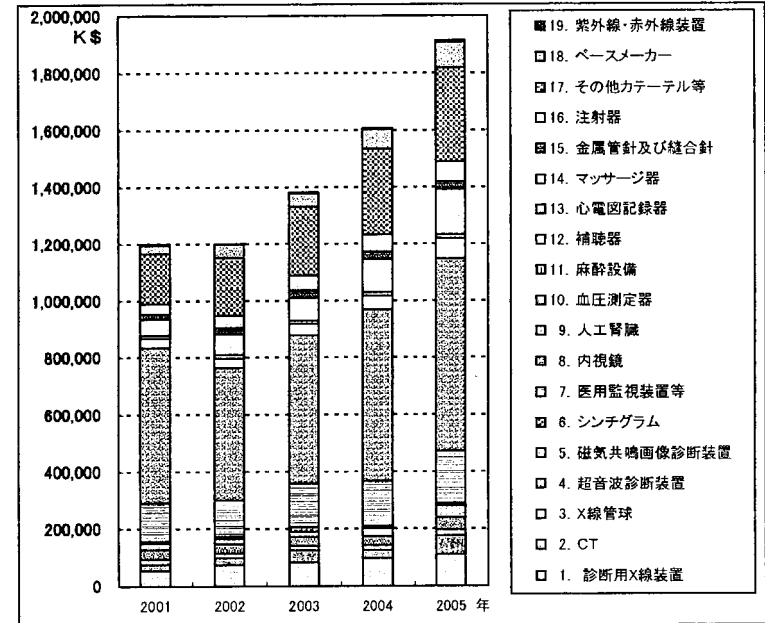
HSコード		2001	2002	2003	2004	2005
902214	1. 診断用X線装置	3,762	4,092	3,101	8,437	17,647
902212	2. CT	1,574	1,748	4,254	5,070	5,852
902230	3. X線管球	676	1,406	2,543	3,922	5,377
901812	4. 超音波診断装置	7,545	3,726	9,836	23,905	43,848
901813	5. 磁気共鳴画像診断装置	1,558	1,466	2,945	2,196	2,453
901814	6. シンチグラム	1,635	3,279	3,173	5,442	5,845
901819	7. 医用監視装置等	65,417	120,861	158,508	169,235	130,454
901890	8. 内視鏡	38,599	43,839	52,112	68,655	99,040
9. 人工腎臓						
10. 血圧測定器						
11. 麻酔設備						
902140	12. 補聴器	6,468	8,362	20,571	34,886	38,041
901811	13. 心電図記録器	49,345	61,885	71,270	77,536	84,753
901910	14. マッサージ器	85,588	124,703	143,328	154,709	158,456
901832	15. 金属管針及び縫合針	293	313	502	188	218
901831	16. 注射器	508	622	1,066	1,017	1,265
901839	17. その他カテーテル等	16,865	20,511	23,609	33,403	41,683
902150	18. ペースメーカー	927	482	368	573	1,954
901820	19. 紫外線・赤外線装置	3,152	1,645	2,754	3,180	2,237



カナダ医用電子装置（輸入） 2001年～2005年

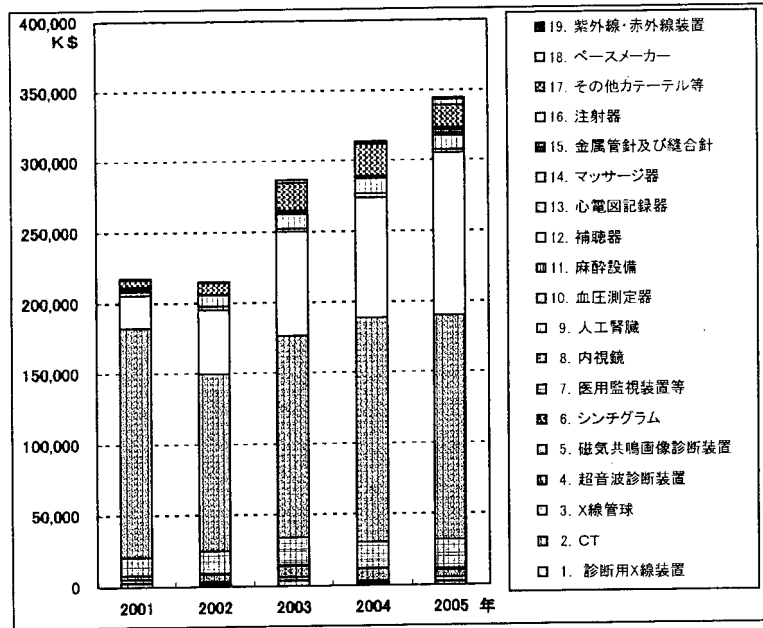
(K \$)

HSコード		2001	2002	2003	2004	2005
902214	1. 診断用X線装置	53,255	73,223	83,808	96,624	110,036
902212	2. CT	22,982	26,104	41,711	28,712	64,988
902230	3. X線管球	18,039	14,368	13,861	15,780	20,569
901812	4. 超音波診断装置	34,446	32,128	31,108	32,163	44,776
901813	5. 磁気共鳴画像診断装置	20,318	19,798	19,558	27,478	39,369
901814	6. シンチグラム	5,816	8,456	16,144	10,106	8,433
901819	7. 医用監視装置等	136,917	127,441	152,741	157,954	184,118
90189030	8. 内視鏡	543,021	463,267	520,367	599,265	675,358
90189040	9. 人工腎臓					
90189020	10. 血圧測定器					
90189070	11. 麻酔設備					
902140	12. 補聴器	32,466	33,154	38,733	48,999	71,811
901811	13. 心電図記録器	11,015	11,196	11,523	13,134	14,510
901910	14. マッサージ器	56,085	73,684	78,895	114,993	158,111
901832	15. 金属管針及び縫合針	19,346	22,383	27,495	26,493	27,598
901831	16. 注射器	35,345	43,647	53,052	62,671	69,764
901839	17. その他カテーテル等	177,323	203,992	242,090	299,971	331,438
902150	18. ペースメーカー	29,342	45,986	47,786	68,815	88,387
901820	19. 紫外線・赤外線装置	2,882	2,652	3,803	3,180	6,464



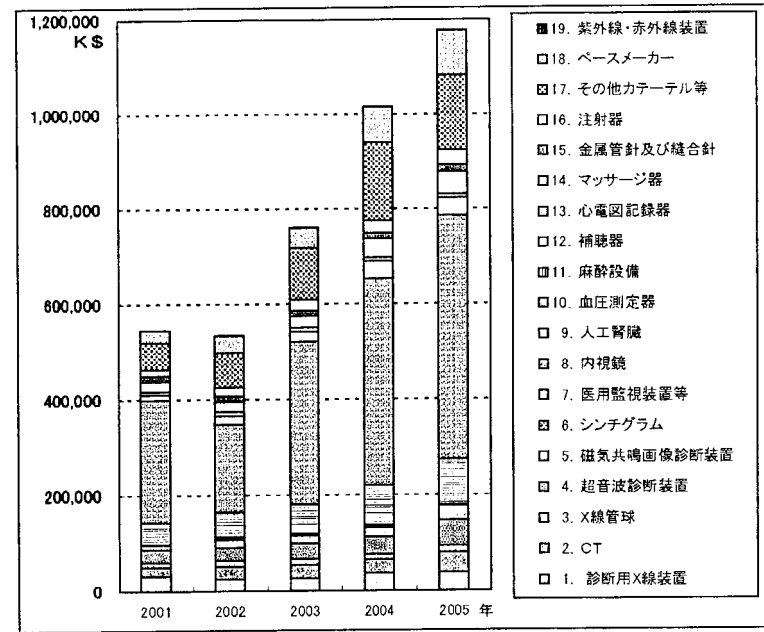
5) オーストラリア医用電子装置（輸出） 2001年～2005年

HSコード		(K \$)				
		2001	2002	2003	2004	2005
902214	1. 診断用X線装置	2,802	1,927	3,713	1,250	2,357
902212	2. CT	363	372	356	56	240
902230	3. X線管球	2,242	1,243	2,254	1,596	2,728
901812	4. 超音波診断装置	2,419	5,092	7,560	8,772	4,911
901813	5. 磁気共鳴画像診断装置	269	367	971	498	977
901814	6. シンチグラム	42	118	163	288	282
901819	7. 医用監視装置等	12,627	15,669	19,089	17,979	20,246
901890	8. 内視鏡	161,662	124,920	142,411	158,420	158,108
	9. 人工腎臓					
	10. 血圧測定器					
	11. 麻酔設備					
902140	12. 補聴器	22,911	45,422	73,609	84,763	115,448
901811	13. 心電図記録器	3,044	2,674	2,400	3,143	1,878
901910	14. マッサージ器	1,496	7,514	9,950	10,403	10,348
901832	15. 金属管針及び縫合針	68	343	1,081	1,161	4,032
901831	16. 注射器	1,550	466	1,433	1,105	1,582
901839	17. その他カテーテル等	4,978	7,884	19,545	22,291	16,096
902150	18. ペースメーカー	938	1,167	2,339	1,228	4,084
901820	19. 紫外線・赤外線装置	296	106	196	1,011	1,517



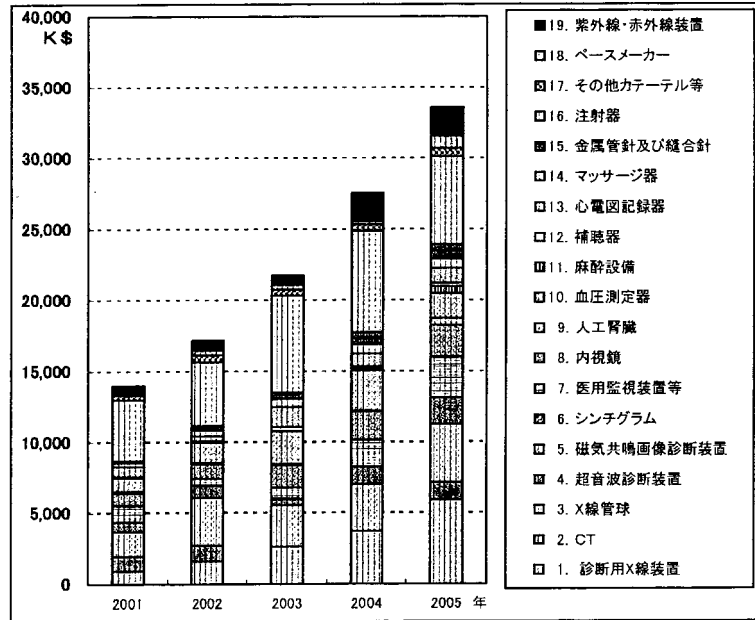
オーストラリア医用電子装置（輸入） 2001年～2005年

HSコード		(K \$)				
		2001	2002	2003	2004	2005
902214	1. 診断用X線装置	30,878	25,133	25,757	36,759	38,417
902212	2. CT	19,342	27,185	28,616	28,319	41,939
902230	3. X線管球	8,887	11,112	12,250	11,572	13,929
901812	4. 超音波診断装置	28,190	26,874	32,953	35,252	53,018
901813	5. 磁気共鳴画像診断装置	8,762	16,570	15,372	19,155	29,791
901814	6. シンチグラム	1,487	5,478	4,069	6,454	2,884
901819	7. 医用監視装置等	45,880	53,471	62,321	82,896	93,669
90189030	8. 内視鏡	256,362	183,137	340,323	433,613	511,949
90189040	9. 人工腎臓					
90189020	10. 血圧測定器					
90189070	11. 麻酔設備					
902140	12. 補聴器	11,216	17,057	20,105	36,575	38,403
901811	13. 心電図記録器	7,068	9,391	8,796	7,482	7,802
901910	14. マッサージ器	19,578	20,417	25,364	39,164	45,798
901832	15. 金属管針及び縫合針	11,921	11,546	10,278	12,072	15,066
901831	16. 注射器	13,183	17,436	22,288	25,273	30,843
901839	17. その他カテーテル等	56,788	73,812	109,396	165,210	158,429
902150	18. ペースメーカー	26,420	35,077	42,777	75,331	94,928
901820	19. 紫外線・赤外線装置	359	737	472	977	692



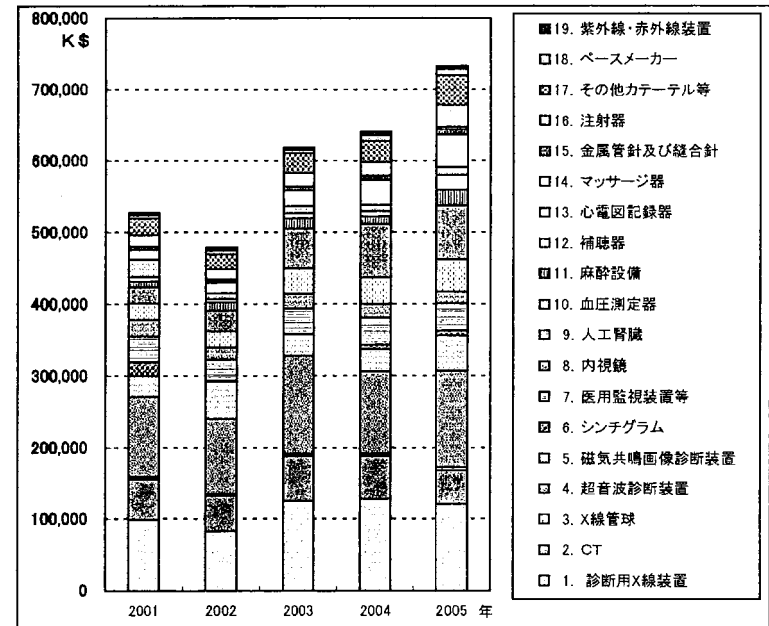
6) ロシア医用電子装置（輸出） 2001年～2005年

HSコード		2001	2002	2003	2004	2005
902214	1. 診断用X線装置	877	1,561	2,618	3,738	5,877
902212	2. CT	1,080	1,123	7	0	1,275
902230	3. X線管球	1,693	3,387	2,913	3,274	4,081
901812	4. 超音波診断装置	682	854	379	1,240	1,882
901813	5. 磁気共鳴画像診断装置	6	34	5	18	26
901814	6. シンチグラム	0	4	0	0	0
901819	7. 医用監視装置等	1,177	478	855	1,884	2,852
90189020	8. 内視鏡	877	1,046	1,613	2,025	2,232
90189030	9. 人工腎臓	158	83	68	26	483
90189010	10. 血圧測定器	936	1,388	2,309	2,831	1,731
90189060	11. 麻酔設備	20	61	55	146	505
902140	12. 補聴器	52	37	268	132	239
901811	13. 心電図記録器	734	367	1,400	920	1,049
901910	14. マッサージ器	253	410	528	606	634
901832	15. 金属管針及び縫合針	186	347	478	892	1,050
901831	16. 注射器	4,244	4,425	6,832	7,127	6,178
901839	17. その他カテーテル等	334	538	408	445	606
902150	18. ペースメーカー	88	308	321	250	867
901820	19. 紫外線・赤外線装置	606	736	683	2,008	2,026



ロシア医用電子装置（輸入） 2001年～2005年

HSコード		2001	2002	2003	2004	2005
902214	1. 診断用X線装置	99,423	82,862	124,631	128,101	120,925
902212	2. CT	56,290	49,288	63,664	60,012	47,261
902230	3. X線管球	3,716	2,826	3,900	3,994	4,114
901812	4. 超音波診断装置	111,467	105,238	135,491	114,083	135,042
901813	5. 磁気共鳴画像診断装置	29,388	51,588	29,815	30,190	48,696
901814	6. シンチグラム	18,515	1,758	827	6,613	6,951
901819	7. 医用監視装置等	35,696	28,659	35,070	38,279	37,961
90189020	8. 内視鏡	23,633	17,276	20,760	18,421	15,927
90189030	9. 人工腎臓	22,173	22,831	35,360	37,133	45,023
90189010	10. 血圧測定器	22,715	28,720	55,500	75,120	76,217
90189060	11. 麻酔設備	8,940	11,841	14,748	10,518	21,595
902140	12. 補聴器	5,552	4,483	6,934	7,113	20,358
901811	13. 心電図記録器	24,169	7,488	10,012	8,939	10,821
901910	14. マッサージ器	13,872	15,106	22,007	34,210	45,654
901832	15. 金属管針及び縫合針	4,657	4,378	5,736	6,923	10,838
901831	16. 注射器	16,469	14,253	18,502	18,618	30,873
901839	17. その他カテーテル等	23,598	20,706	27,476	29,951	41,306
902150	18. ペースメーカー	3,904	5,238	4,805	7,574	9,375
901820	19. 紫外線・赤外線装置	3,172	4,770	3,669	5,705	4,367



最先端歯科医療による健康長寿社会の実現

平成 19 年 8 月 10 日

社団法人日本歯科商工協会 中尾 眞

我々は、このたび、日本歯科医師会、日本歯科医学会との協働により、平成19年版「歯科医療機器産業ビジョン」をまとめた。「生きることは食べ続けることである」という先達の言葉にあるように、口や歯の果たす役割は、国民の皆さんの日常生活のエネルギーを取り込むための摂食行動を担い、人間としての有意義な会話の文化を保ち、より充実した健康な人生を送る上で非常に重要であると考えているからである。

政府は、先に発表した「経済成長戦略大綱」の中で将来にわたる我々歯科に係わる医療機器産業の重要性を認めている。また、「健康日本21」中間評価報告書（平成19年4月10日）では8020運動の成果により中間目標値をクリアすることができたと報告している。しかしながら、幼児・学齢期のう蝕予防及び成人期の歯周病予防においては今後の更なる活動が求められている。その後発展した「新健康フロンティア戦略」（平成19年4月18日）の中で、国民の皆さん自らがそれぞれの立場に応じて行う健康対策として9項目が挙げられており、「歯の健康づくり（歯の健康力）」と「食育の推進（食の選択力）」が、歯・口と食育とに関わる内容として盛り込まれ、幼児期・学齢期の予防対策、成人期の歯周疾患対策、高齢期・寝たきり者の口腔ケア、生涯を通じた8020運動の推進が求められ、歯の重要性が認識されている。この様に歯科は、生きる力を支え、毎日の生活を豊かにする医療であり、国民の生活に深く関わっていると認識されている。今日、国民の皆さんの口腔衛生思想の普及・啓発によるう蝕罹患率の減少は見られるものの、歯科の役割は更なる口腔機能の改善、維持、ADL向上を図るための疾病化予防、積極的予防を中心とした疾病管理へと大きくシフトしつつある。

このような歯科診療形態の変化に則した新たな新規医療技術を確立して行くためには、歯科産業界の視点や事情だけでなく、歯科臨床・歯科医療に関わる歯科界全体で取り組むべき課題を明確にし、歯科医療機器産業ビジョンを取りまとめ、さらに超高齢社会における予防技術、診断・治療技術、社会復帰・社会参加の各ステージにおいて歯科医療技術の可能性、歯科界の進むべき方向性を、現在、厚生労働省において改訂が進められている新医療機器産業ビジョンの中に盛り込んで頂きたいと考えている。

特に今回強調したい事は、「歯科界としての“方向性の確認”と“選択と集中”」である。歯科は“生活の医学”としての特徴を持ち、正に国民の皆さんのQOL・ADLに直結している。国民ニーズの変化、歯科疾患の構造の変化を踏まえ、国民の皆さんの健康長寿とQOL・ADL向上にお応えする為に歯科の医療技術革新並びにそのエビデンスを確立しなければならない。この為に特定分野テーマを絞り、その分野の研究開発から治験の実施、実用化を促進すると同時に、臨床現場への適切な適用を図るための基盤整備も進めなければならない。また、同時に技術革新が進む歯科医療の変化を臨学産が共同して正しい情報発信を図り、歯科医療啓発活動へと結びつけなければならない。

最後に、口腔ケアを通じて、グローバルな健康長寿社会に貢献し得る日本発歯科医療技術の構築とそれを支える歯科医療機器の進歩を目指し、「真の健康世紀」・「真の健康長寿社会」を実現したいと願っている。

以上

新産業ビジョン検討WG

最先端歯科医療による 健康長寿社会の実現

平成19年8月10日(金)
社団法人日本歯科商工協会
会長 中尾 眞

歯科疾患の特性

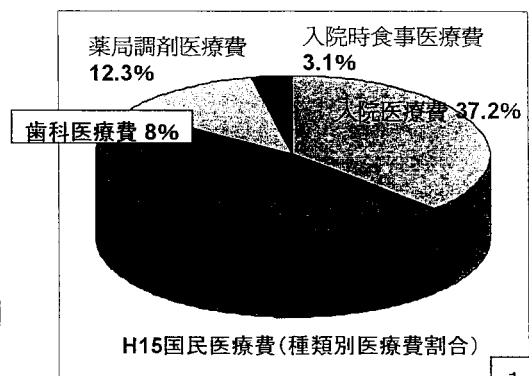
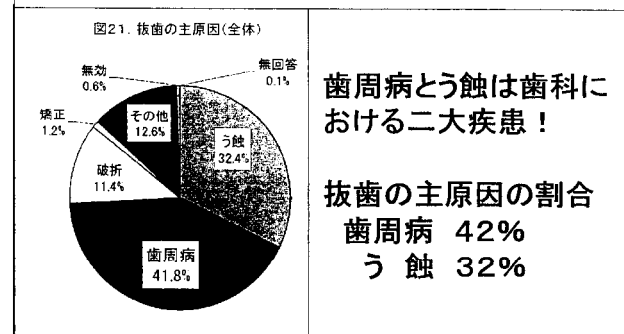
- ・ 国民のほぼ全てが罹患する
- ・ 不可逆性であり、蓄積性がある
- ・ 年齢特性がある
(若年:う蝕、中高年:歯周病)
- ・ 疾患について個人差がある
- ・ 予防の可能性を有する
- ・ 長期的な維持管理が重要である
- ・ セルフケアが重要である



歯科医療の特性

- ① 診療所中心(個人開業、小規模)
歯科医師の97.4%が医療施設従事者、85.1%が診療所従事
(H16 医師・歯科医師・薬剤師調査)
- ② 外来中心
- ③ 薬剤の使用が少ない
- ④ 人工臓器:再生能力が極めて乏しい歯の修復
- ⑤ 金属、レジン、セラミックな等多様な材料を使用
- ⑥ 1口腔(32本)内に様々な治療形態が存在
- ⑦ 機能回復に加え、審美性の回復も必要

歯周病とう蝕の関係



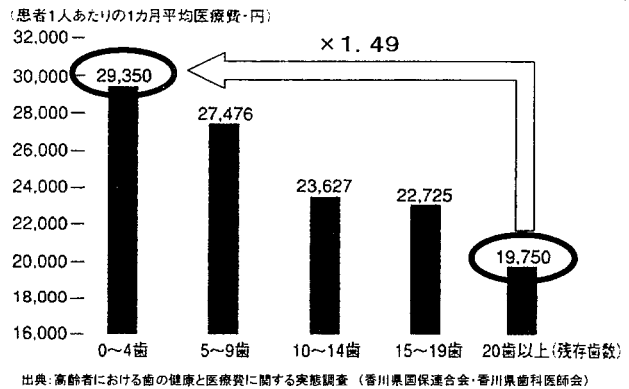
歯科医療に対する認識の変化

新健康フロンティア戦略（平成19年4月）
 歯の健康づくり(歯の健康力)
 食育の推進(食の選択力)
 → 歯の重要性の再確認

「健康日本21」中間評価報告書（平成18年7月）
 1人平均歯数の減少
 80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の
 自分の歯を有する者の増加
 → 中間目標値のクリア

健康寿命の延伸

残存歯数別65歳以上1人当医科医療費



国民医療費適正化の可能性

生活密着型医療の展開

歯周病と全身疾患・状態との因果関係解明の進展
 (糖尿病, 心疾患, 呼吸器疾患, 早産・未熟児)

2

歯科医療機器の特殊性と課題

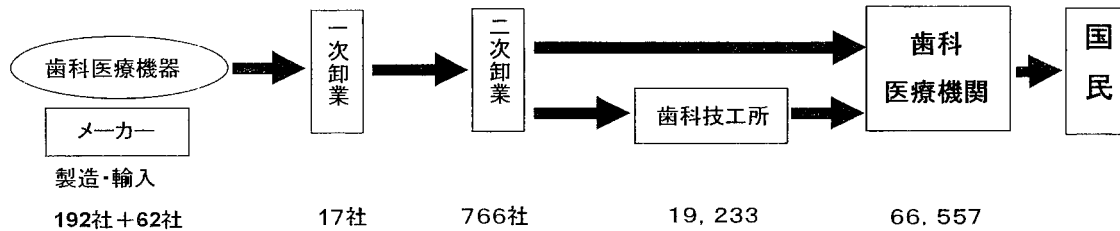
歯科医療機器産業は小規模企業により支えられ、生産・販売品目数約15万点、
 販売単位も年1個からの品目が存在するという多品目少量の状況

- 材料と機器が市場を二分
- 多品目少量生産
- 使用環境: 急激な温度・pHの変化等過酷な口腔内環境
- 金、銀、パラジウム等貴金属を高頻度に使用
 (国際市場、為替レート等による影響が大)
- 多くの要件が高いレベルで必要
 (操作性、安全性、生体適合性、耐久性、審美性)
- 歯科技工作業を経て患者の口腔内に装着
- 医療安全対策への対応

3

歯科医療産業の現状と課題

市場構造



市場規模

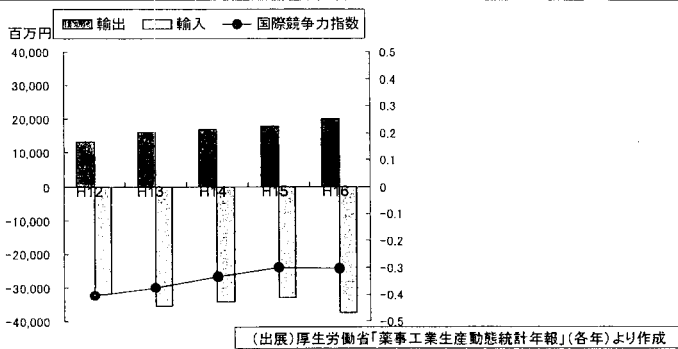
3,137億円 平成17年医療経済実態調査より推計

		売上高	備考
メーカー	192社	数千万円～540億円	12社でシェアの81.0%
一次卸業	17社	数億円～623億円	4社でシェアの81.4%
二次卸業	766社	数千万円～386億円	10社でシェアの39.1%
輸入業	62社	数千万円～43億円	—

4

歯科医療機器の国際競争力

輸出・輸入額 国際競争力指数

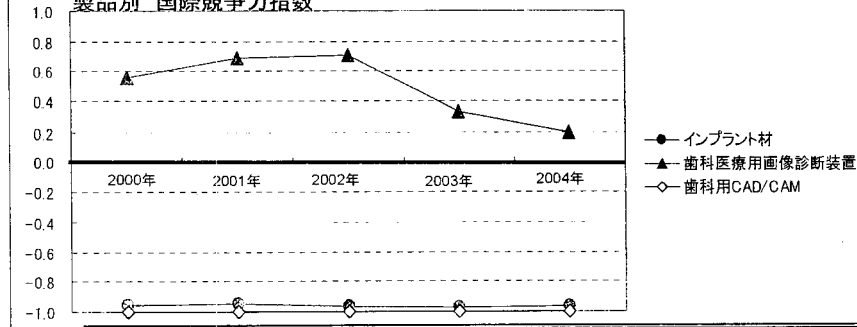


歯科におけるグローバル・トップメーカーの推移

2002年	
①	Dentsply
②	3M/ESPE
③	GC (JAPAN)
④	Sybron
⑤	Heraeus Kulzer
⑥	Ivoclar/Vivadent
⑦	Kavo
⑧	Sirona
⑨	Kodak
⑩	Adec

2006年	
①	Dentsply 2,020億円
②	Danaher 1,520億円
③	GC (JAPAN) 666億円
④	Nobel Biocare 650億円
⑤	3M/ESPE 600億円
⑥	Ivoclar/Vivadent 600億円
⑦	Sirona 460億円
⑧	Kodak 360億円
⑨	Heraeus Kulzer 300億円
⑩	Planmeca 280億円

製品別 国際競争力指数



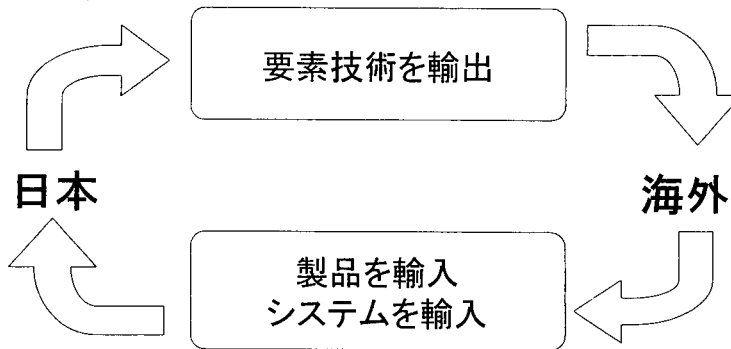
我が国の基礎技術及び要素技術の活用による製品開発が不十分

5

歯科医療機器の国際競争力

日本には良い素材と良い技術がありながら、歯科医療機器の上市に至っていない

国民に良質な歯科医療機器を国内企業により適切に供給できていないのが現状



- ・ジルコニアのものは日本発
- ・金属チタン(素材と加工技術は日本製) → 鋳造用、矯正用ワイヤーとして輸入
- ・歯科用インプラント材用加工機は日本製
- ・光触媒の酸化チタン → ホワイトニングに応用
- ・CAD/CAM * → 機械技術

* (Computer Aided Design/Computer Aided Manufacturing=コンピュータによる設計・加工)

我が国の要素技術の活用による
国際競争力の向上

6

歯科医療機器の治験環境

被験者のリクルートが困難

治験コストによる企業の治験実施の意欲の低下

国内治験環境の整備が不十分

+

歯科医療機器における治験環境の問題点

- ① 多分野多品目のため普遍的治験方法の確立が困難
- ② 治験を実施する機関が分散
- ③ 歯科医療機器の歯科医師主導治験の実績がない

治験実施のknow/how
の集積が困難

治験活性化計画アクションプランを策定し三重要課題を達成

治験拠点歯科医療機関ならびに治験ネットワークの整備

治験ノウハウの集積、治験の効率化による治験期間の短縮

拠点機関への人材集中とネットワークの構築によるコストの低減

具体的施策

- ① 企業の協力(治験機器提供、治験機器概要、安全性情報管理、最終的な申請)
- ② 治験費用獲得
- ③ 治験担当歯科医師へのインセンティブ(報酬、業績評価)
- ④ ネットワーク内での臨床データの一元化
- ⑤ 治験審査委員会の共同利用
- ⑥ 医療機器の有害事象への対応
- ⑦ 人材の育成と供給
- ⑧ 治験相談体制作り
- ⑨ 臨床家歯科医師が治験に参加可能な体制作り
- ⑩ スケジュール管理・データ管理のIT化

7

今後の方向性

— 歯科医療技術の構築による“真の健康長寿国家”の実現 —

“臨学産”+”官”連携強化による特定分野テーマに係わる研究・開発・治験・実用化の促進

“臨学産”連携によるグローバル情報発信力の強化(国際学会・展示会への参加・企画)

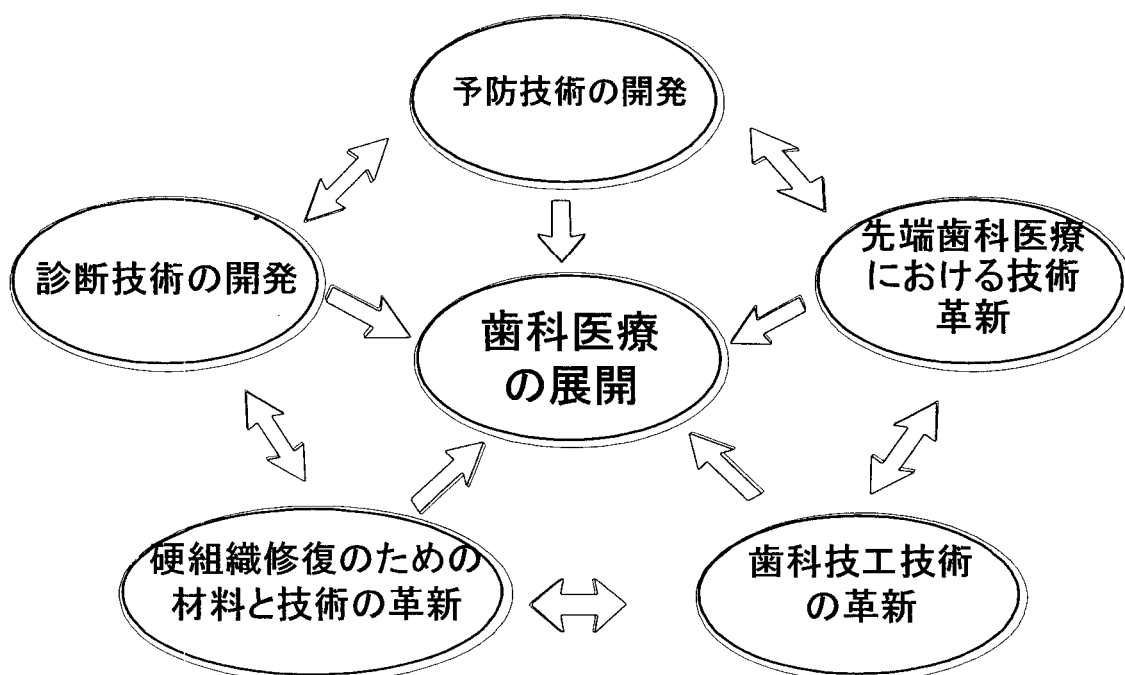
国民への最新歯科医療技術の提供とそのための啓発活動の促進

具体的行動計画

- (1) 国民への歯科医療啓発活動の推進
- (2) 歯科医療技術の国際的発信力の強化
- (3) 歯科医療技術革新における重点分野選定と研究開発促進による国際競争力の強化
- (4) 歯科医療技術革新における基盤整備促進
 - ① 認証・承認の迅速化の促進
 - ② 歯科医療器材の性能と安全性の保証システムの構築
 - ③ 特許取得戦略の策定
 - ④ 歯科医療器材審査基準の国際標準化の対応策への策定
 - ⑤ 歯科医療器材治験体制の整備
 - ⑥ 国際競争力強化のための企業の統合・協業の促進
- (5) 歯科医療技術革新の推進体制の構築

8

将来に向けた歯科医療展開のイメージ



日本歯科医師会、日本歯科医学会、日本歯科商工協会、各団体がイノベーション強化のための推進策を国と連携して実施

9

歯科医療技術の可能性

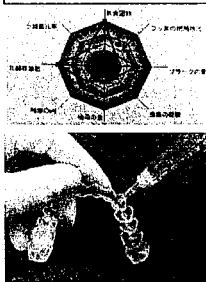
—ヒューマンデンタルヘルス・イノベーション—

予防技術

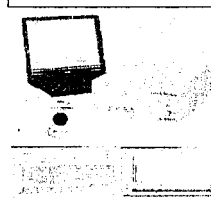
口腔ケアの積極的な啓発と高度予防技術により健康医療への関心の高まり

唾液リスク判定に基づくオーダーメイド予防技術

歯科ドック



口臭測定装置



幾つになっても若々しい口元

アンチエイジング技術



診断・治療技術

・無痛治療の実現 ・歯の再生
・治療の多数選択肢の提供

低侵襲う蝕治療

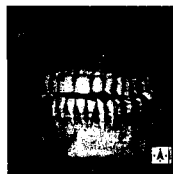


痛くない虫歯治療

咀嚼能力・咬合機能診断装置
高精度画像診断



オーダーメイド歯周治療



歯・骨再生とインプラント補綴治療



革新的歯冠修復材料

社会復帰・社会参加

食の喜びにより高齢者が積極的に！

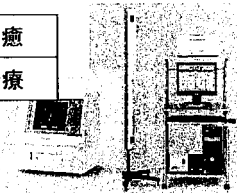
咀嚼・嚥下機能の回復とコミュニケーション能力の回復

審美補綴治療による機能及び審美性の回復

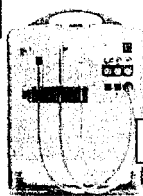


口腔乾燥症治療

咀嚼筋活性化治療



高機能訪問診療機材



10

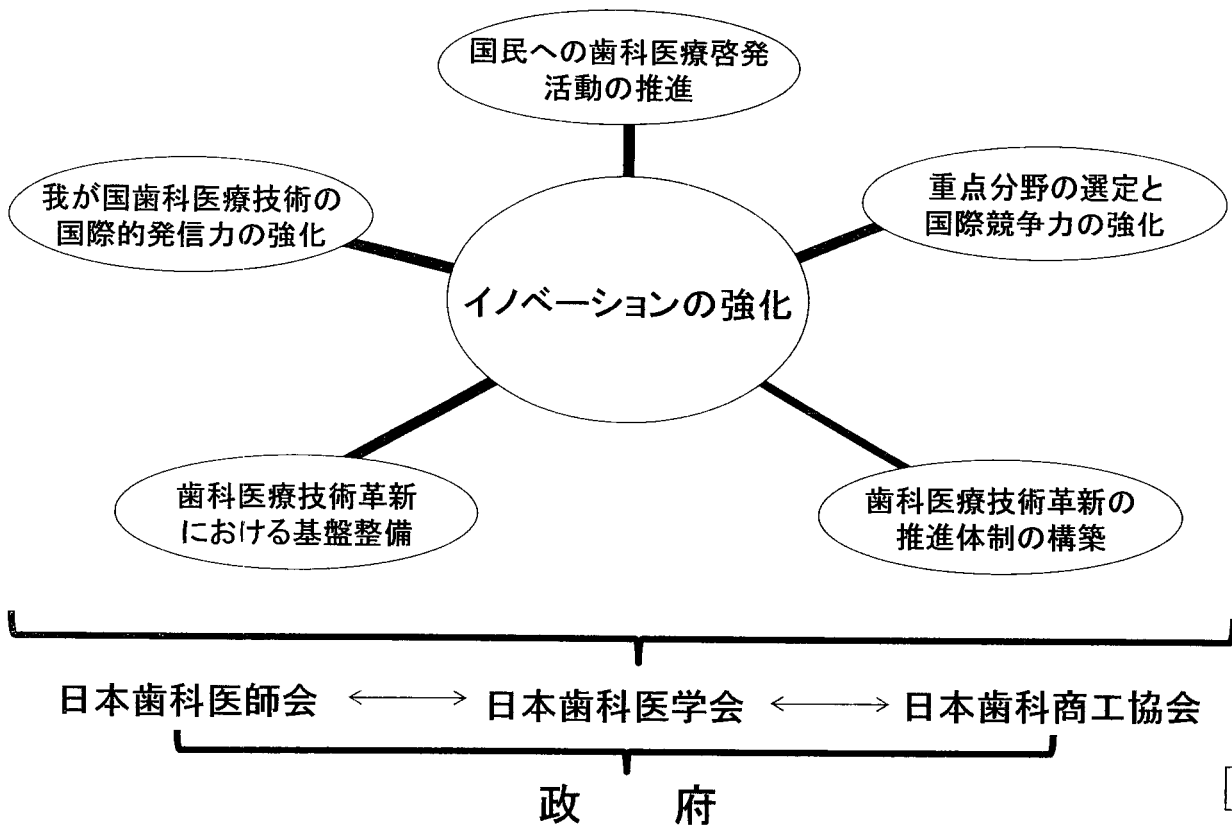
歯科医療技術で支える健康活動の可能性

—ヒューマンデンタルヘルス・イノベーション—

目標	将来 ←	歯科医療技術 ←	現在
最先端歯科医療による 健康長寿社会の実現！	爽やかな息 ・生活パターンの積極化 ・良好な対人関係の構築	口腔内環境コントロール技術 ・臭気測定器 ・細菌叢コントロール	口臭
	Perfect Smile ・笑顔がキレイ！ ・身体能力の向上に	歯列矯正装置・技術 ・診断測定・画像応用技術	歯並び
	装着感優れた何でも噛める義歯 ・食のQOLの向上	生体適合高機能人工臓器 高分子床用材料	義歯装着
	8020の達成 ・高齢者の身体機能の維持増進 ・寝たきりやアルツハイマーの予防 ・要介護者・寝たきり者の減少 ・アレルギーFreeの材料 QOLの向上 ・笑顔がキレイ！ ・アンチエイジング	低侵襲技術・審美技術 ・ラミネートベニア ・ホワイトニング 歯・歯周組織再生医療 ・診断測定、画像応用技術 ・歯質強化技術 ・義歯材料 ・インプラント材 ・歯及び顎骨再生技術 ・CAD/CAM	う蝕・歯周病 歯の変色 歯の喪失
	顔面疼痛、肩凝り、頭痛の改善	咬合再構築技術 ・診断測定・画像応用技術 ・低侵襲性顎関節外科技術	顎関節症

11

イノベーション強化のための推進策



12

歯科医療産業の強化対策

先進的高機能製品の開発

歯科用インプラント国産化の推進とCAD/CAM技術の開発を進め、インプラント上部構造体、生体親和性を追求した歯冠修復補綴物等の先進的高機能製品の開発と国際的販売網の構築が必要

再生医療への挑戦

既に臨床応用されている製品(GTR膜・組織誘導再生膜、EMD:エナメル基質誘導体)に止まらず、再生医療や組織工学に関し歯科産業においても臨学産官の協力体制を強化し、最先端の技術をいち早く臨床活用

診療分野における診断・予防の充実

診断技術(遺伝子・唾液・骨等に関する診断の研究)の実用化を図りオーダーメイド歯科医療として診断結果をベースに国民一人ひとりの予防処置を講ずる

国民の健康・審美志向への対応

矯正、審美、ホワイトニング、咬合、在宅歯科診療、口臭、アンチエイジング等、国民のニーズに応える治療技術の確立を図る

歯科流通分野における効率化と品質保証体制の充実

正確迅速な情報伝達及び機器の保守管理のレベル向上に努めると同時に、物流の効率化・合理化をバーコード等の活用し、さらなるIT化の促進と保守点検・修理体制の整備を図る

競争力強化のための統合・協業の促進

単独企業として絶えざる改善・改革を進め、業務の効率化を促進することは当然だが、グローバル競争という観点からの統合・協業関係の構築を検討する

法制度への提言と体制の充実

基盤となる薬事法については円滑な運用の確立を求めるとともに、国民の健康増進と予防実践活動への貢献と国際競争力の強化等の総合的な取り組みを進め、臨学産官の協調を強化

13